

## 山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	FDG-PET パラメトリック画像と機械学習に基づく肺がんの鑑別モデル開発		
② 実施予定期間	実施許可日 から 2029 年 03 月 31 日		
③ 対象患者	肺がん患者さんのうち、対象期間中に当院で PET/CT 検査と病理検査を受けられた、また、受けられる予定の患者さん		
④ 対象期間	2024 年 04 月 01 日 から 2028 年 03 月 31 日 追跡期間：2028 年 09 月 30 日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	呼吸器・感染症内科 第一外科 放射線部		
⑦ 研究責任者	氏名	中村 優斗	所属 医学部附属病院放射線部
⑧ 使用する情報等	研究対象者背景：年齢、年月、性別、入院・外来の別、身長、体重、既往歴、前治療、PET検査実施日、病理検査実施日、TNM分類、病期分類、術後変化、再発の有無 画像データ：PET, CT, 病期判定に寄与した画像検査情報 病理検査データ		
⑨ 研究の概要	本研究は、FDG-PET/CT画像をもとに、肺がんの診断や治療後の経過をより正確に評価する方法を開発することを目的としています。当院のPET/CT装置では、PET画像から「パラメトリック画像」と呼ばれる新しい種類の画像を作ることができます。従来のPET画像は、ブドウ糖に似たFDGという薬が体のどこにあるかを写しますが、この中には代謝されずに血管などに残っている部分も含まれます。新しいパラメトリック画像では、体内で薬が代謝されて使われている部分だけを写した画像（Ki画像）と、代謝されずに残っている部分だけを写した画像（DV画像）を作ることができます。従来のPETだけでは分からない追加の情報が得られる可能性があります。これらの画像に加え、患者さんの年齢や性別などの背景情報や病理検査データを用いて、コンピュータ（機械学習）による診断モデルを作成します。画像の中の腫瘍部分を解析し、がんの進行度や種類、手術後の変化が再発かどうかを予測できるかを検討します。画像からより多くの情報を引き出すことで、診断の精度向上や再発の早期発見につながることを期待されます。		
⑩ 実施許可	研究の実施許可日	2025 年 12 月 24 日	

⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	大学内の運営費（放射線腫瘍学講座研究費）			
⑯ 利益相反	ありません。			
⑰ 問い合わせ先 相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線部 担当者：中村 優斗			
	電話	0836-22-2631	FAX	0836-22-2635